

シュートを放つ三重の選手(手前左)＝碧南市の碧南緑地ビーチコートで



尾張・知多

B、ばうわうアミコーネ▽
級1部 プライアンホーク3-0ド
ンタコス、ボンズ6-0ハートラン

インピース3-1SPO、アスター
ズ6-1垣見鉄工、カリーズ3-
3足立川センターズ

ちい信金スポーツセンター) 本社
後援
いちい信金6-1ヤンキース、ダ
トロン

14チーム熱い攻防

碧南でビーチサッカー全国大会

ビーチサッカーの全国大会「HEKINAN(ヘキナン)カップ2019」最終日が28日、碧南市の碧南緑地ビーチコートで開かれた。東北から九州までの男女14チームが熱戦を繰り広げた。

大会は2日間の日程で、昨年に続き2回目。共催の日本ビーチサッカー連盟が地域とチーム力から参加チームを選抜した。

男子は8チームが2組に分かれて予選リーグを行った。岡崎市在住の田畑輝樹選手(40)が主力のヴィアティン三重BSは、

午前中の予選最終戦で、浮きパスを連続でつないでゴールに迫り、新潟のチームに勝利。順位決定戦でも熊本のチームに勝ち、3位に入った。

日本代表として3月のアジア選手権(タイ)で日本の優勝に貢献した田畑選手は「こんなにきれいな砂でプレーできるのありがたい。若い選手が入ったので、チームづくりはこれから」と話した。優勝は男子がドルソーレ北九州(福岡)、女子がチャパルマBS(愛知)となった。

女子 愛知のチャパルマBSが優勝

◇緑
部
クラス

1位

真由美

2位

伊千重

位同

小池・橋

◇南

金3

6味

◇中

日まで

大府

2共

10大

2大府

木スポ

北山

◇愛

季リ

ウー

o o d

7スケ

トロン